

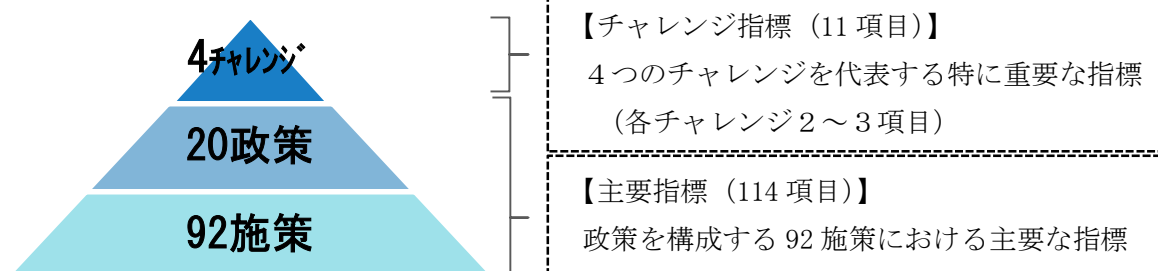
令和 3 年 10 月 28 日
茨 城 県

2021 年度（2020 年度分） 県総合計画（第 3 部）政策・施策に係る進捗状況について

1 政策体系と数値目標について

政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 125 項目の数値目標（チャレンジ指標 11 項目、主要指標 114 項目）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）92 施策の評価




「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の 4 段階で評価します。

A 達成率 100%以上	C 達成率 50%～75%未満
B 達成率 75%～99%	D 達成率 50%未満

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。また、複数年度ごとに更新されるなど、更新がない場合は、評価保留とするか、定性評価で評価します。

（2）20 政策の進捗状況

政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4 点、B:3 点、C:2 点、D:1 点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階に分類します。

結果	施策評価の平均値
 順調である	4.0 点 ～ 3.0 点
 成果をあげつつある	2.99 点 ～ 2.0 点
 取組の強化が求められる	1.99 点 ～ 1.0 点

3 政策の進捗状況の結果について（総括）



- 2020年度における20政策の進捗状況について、「順調である」が7政策、「成果をあげつつある」が10政策、「取組の強化が求められる」が3政策となります。

区分	2019	2020	増減	備考
 「順調である」	11	7	▲4	★進捗が悪化した政策：7政策 （「順調である」→「成果をあげつつある」） ・3 強い農林水産業 ・11 次世代を担う「人財」 ・14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城 ・15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会 （「成果をあげつつある」→「取組の強化が求められる」） ・8 障害のある人も暮らしやすい社会 ・16 魅力度 No.1 プロジェクト ・18 ビジット茨城 ～新観光創生～
 「成果をあげつつある」	9	10	+1	
 「取組の強化が求められる」	—	3	+3	

新しい豊かさ				
区分	2019	2020	増減	
 「順調である」	3	2	▲1	
 「成果をあげつつある」	2	3	+1	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい安心安全				
区分	2019	2020	増減	
 「順調である」	1	1	—	
 「成果をあげつつある」	4	3	▲1	
 「取組の強化が求められる」	—	1	+1	






新しい人財育成				
区分	2019	2020	増減	
 「順調である」	4	1	▲3	
 「成果をあげつつある」	1	4	+3	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい夢・希望				
区分	2019	2020	増減	
 「順調である」	3	3	—	
 「成果をあげつつある」	2	—	▲2	
 「取組の強化が求められる」	—	2	+2	

※四角囲みをした政策は、2019年度より進捗状況が改善。また、下線を付した政策は、2019年度より進捗状況が悪化。

4 チャレンジ指標の進捗状況について（総括）

- ・2020年度におけるチャレンジ指標の進捗状況については、「期待値より進捗」が4指標、「現状値より進捗」が0指標、「横ばい」が1指標、「現状値より悪化」が2指標、「評価保留」が6指標となります。

区 分	該当指標数・指標名	
期待値より進捗 	4 (3)	①1人あたり県民所得（全国順位）、②雇用創出数(期間累計)、 ⑨企業経営者が考える成長期待度（※2018年度は評価保留） ⑩農林水産物及び工業製品等の輸出額
現状値より進捗 	0 (3)	
横ばい 	1 (2)	⑧県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差
現状値より悪化 	2 (2)	③生産農業所得(販売農家1戸あたり)、⑩観光消費額
評価保留 	6 (3)	④最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数、 ⑤健康寿命（男性）、⑤健康寿命（女性）、⑥子どものチャレンジ意欲、 ⑦生徒の英語力(高校)、⑦生徒の英語力(中学)
計	13	

※指標数の括弧内は2019年度。

※四角囲みをした指標は、2019年度より進捗状況が改善。また、下線を付した指標は、2019年度より進捗状況が悪化。

※チャレンジ指標は11項目であるが、「⑤健康寿命」が男女別の数値となっており、また、「⑦生徒の英語力」が中学・高校別の数値となっていることから、13項目により整理。

※「評価保留」：指標が複数年度ごとに更新されるなど、数値の更新がない場合。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大による調査未実施のため数値の更新がなされなかったケースも含まれる（⑥、⑦）

参考 新型コロナウイルスの影響を受けた主要指標の考え方について

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について、2019年度実績分においては影響を受けた期間を控除する評価を実施したが、2020年度は「新しい生活様式」に対応した新たな施策を展開するなど、原則として現在設定している目標の達成に向けた取り組みを進めていくこととしたため、2020年度実績分においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた分を控除する評価は実施しない。











政策の進捗状況、施策及び主要指標の評価結果(2020年度)

資料2 別添1

I. 新しい豊かさ	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2020)				(参考)		目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2020 指標評価	2019 指標評価	2021		
1 質の高い雇用の創出																
(1) 成長分野等の企業の誘致		順調である	A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計)	人	256 (2016)	—	1016	—	768	148%	A	A	1,024 (2018~21累計)	
				2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計)	件	28 (2016)	—	126	—	84	175%	A	A	112 (2018~21累計)	
				3	県の支援により進出した外資系企業数(経年累計)	件	4	—	15	—	18	79%	B	C	22	
(2) 工業団地への企業立地の加速化		順調である	A	4	工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計)	件	50	4	196	1	150	146%	A	A	200 (2018~21累計)	
(3) 産業を支える人材の育成・確保				B	5	基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計)	人	530 (2018)	10	1,443	10	1,489	95%	B	A	2,009
2019平均値 4.0																
2 新産業育成と中小企業等の成長																
(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成		順調である	A	6	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)	社	4 (2018)	—	13	—	8	225%	A	A	10	
				7	先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数(経年累計)	件	15 (2018)	—	26	—	20	220%	A	—	45	
(2) 共存共栄できる新しい産業集積づくり		順調である	A	8	産学官連携による新製品等開発件数(経年累計)	件	66	—	98	—	96	107%	A	A	106	
(3) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成				A	9	意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合	%	—	—	54	—	42	129%	A	B	50
					10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数(経年累計)	件	—	—	10	—	8	125%	A	A	18
2019平均値 4.0																
3 強い農林水産業																
(1) 農業の成長産業化		成果をあげつつある	C	11	販売金額1億円以上の農業経営体数	経営体	255 (2015)	7	311	5	350	59%	C	—	350 (2020)	
(2) 未来の農業のエンジンとなる担い手づくり				D	13	法人化している農業経営体率	%	5.1 (2015)	40	8.3	39	11.7	48%	D	—	11.7 (2020)
(3) 林業の成長産業化					A	14	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	—	—	1	—	0	—	A	—
(4) 水産業の成長産業化				D	15-1	沿岸漁業における法人の割合	%	3.2 (2018)	—	3.6	—	6.6	12%	D	D	8.9
					15-2	漁労収入1億円以上の沿岸漁業経営体数	経営体	5 (2018)	—	5	—	9	0%	D	D	12
(5) 県食材の国内外への販路拡大				A	16	県の支援により成約した農産物の市場外取引商談件数	件	137 (2018)	—	618	—	580	109%	A	A	860
(6) 美しく元気な農山漁村の創生	A	17	野生鳥獣による農作物被害金額	百万円	580 (2016)	43	458 (2019)	40	502 (2019)	156%	A	A	450以下			
2019平均値 3.0																
4 多様な働き方																
(1) 自分らしく働くワーク・ライフ・バランスの実現		成果をあげつつある	B	18	県内中小企業における年次有給休暇取得率	%	53.97 (2016)	9	60.63 (2019)	8	60.00 (2019)	110%	A	D	61.00以上	
(2) 女性が輝く環境づくり				A	19	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数	時間	12.8	45	10.8	未公表	9.6	63%	C	C	9.3以下
(3) U I J ターンで大好きな茨城へ					D	20	政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合)	%	30.7	34	36	未公表	35	123%	A	C
(4) 移住・二地域居住の推進~茨城へ新しい人の流れを~				B	21	大学卒業者の県内企業等への就職率	%	30.7 (2016)	—	30.3 (2019)	—	32.5	0%	D	D	32.9
(5) 安心して就労できる環境づくり					—	22	地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計)	人	10,770	—	22,619	—	22,770	99%	B	B 【A】
				23	雇用者の正規雇用率	%	61.5	28	—	次回公表は2022実績	62.4	—	—	—	62.7	
2019平均値 2.0																
5 かけがえのない自然環境の保全・再生																
(1) 湖沼の水質浄化~泳げる霞ヶ浦を目指して~		成果をあげつつある	D	24	霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値)	mg/L	7.3 (2018)	西浦9位/14 常陸利根川 11位/14 北浦12位/14 指定湖沼11 湖沼(14水域)	7.3	—	7	25%	D	A	7.0 (2020)	
(2) 身近な自然環境の保全				A	25	霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数	件/年	1,219	—	1,339	—	1,531	39%	D	D	1,531
(3) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策					A	26	大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率	%	94.4	—	100	—	100	100%	A	A
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり				D	27	本県の二酸化炭素排出量の削減	%	家庭: 3,812 業務: 4,421 運輸: 6,620 産業: 30,850 (2013、千t-CO2)	—	家庭: ▲21.1 業務: ▲30.7 運輸: ▲4.1 産業: ▲7.9 (2018)	—	家庭: ▲11.5 業務: ▲11.8 運輸: ▲8.2 産業: ▲2.6 (2018)	198%	A	A	家庭: ▲18.4 業務: ▲19.2 運輸: ▲13.2 産業: ▲4.24
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現					C	28	不法投棄発生件数	件	120	—	197	—	100	0%	D	指標変更
				29	電気自動車等充電インフラの整備数(経年累計)	施設	1,041	—	1,044	—	1,047	50%	C	指標変更	1,054	
2019平均値 2.8																











※ 2020年度の実績値は、概ね2021年8月末までに公表された数値を掲示

チャレンジ I 「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジ I)							主要指標評価結果(チャレンジ I)						
	2	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計	
・「順調である」	2													
・「成果をあげつつある」	3	11	3	2	5	1	22	15	3	3	7	1	29	
・「取組の強化が求められる」	0	(50.0%)	(13.6%)	(9.1%)	(22.7%)	(4.5%)	(100.0%)	(51.7%)	(10.3%)	(10.3%)	(24.1%)	(3.4%)	(100.0%)	

II. 新しい安心安全	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2020)				(参考)		目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2020 指標評価	2019 指標評価	2021		
															2020は準備期間として設定	2020は準備期間として設定
6 県民の命を守る地域医療・福祉																
(1) 医師不足緊急対策	 成果をあげつつある	 2.3 2019平均値 2.0	—	30	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	—	—	2020は準備期間として設定		—	—	—	指標変更	7.5 (2022)	
(2) 医療・福祉人材確保対策			A	31	特定看護師数	人	35	11 (10万人あたり)	96 (2019)	6 (10万人あたり)	85	122%	A	A	140	
(3) 医療提供体制・地域保健の充実			D	32	介護職員数	人	34,959 (2016)	—	42,001 (2019)	—	42,001 (2019)	100%	A	A	44,483	
(4) がん対策			—	33	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	42.7 (2016)	40	43.3 (2019)	42	39.5 (2019)	0%	D	D	全国平均以下	
(5) 精神保健対策・自殺対策			C	34	がん検診受診率	%	44.9 (2016)	22	— 次回公表は2023.7予定		—	—	—	—	D	50.0
(5) 自殺者数(人口10万人あたり)			C	35	自殺者数(人口10万人あたり)	人	17.1 (2016)	22	16.7 (2019)	18	16.5 (2019)	67%	C	D	16.2以下 (2020)	
7 健康長寿日本一																
(1) 在宅医療・介護の支援	 順調である	 3.0 2019平均値 3.3	A	36	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	360 (2015)	36 (10万人あたり)	421	—	396	169%	A	A	414 (2020)	
(2) 地域包括ケアシステムの構築			A	37	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	74.6 (2018)	—	94.4	—	91.6	117%	A	A	100	
(3) 認知症対策の強化			B	38	認知症サポーター養成人数(経年累計)	人	201,567	37 (総人口に占める割合)	276,004	33	284,300	90%	B	A	284,300 (2020)	
(4) 高齢者の能力活用と就労支援			—	39	高齢者有業率	%	38.2	30	— 次回公表は2022実績		—	—	—	—	—	38.5
(5) 人生百年時代を見据えた健康づくり			D	40	シルバーリハビリ体操指導士養成数(経年累計)	人	8,312	—	9,398	—	11,000	40%	D	D	11,000 (2020)	
				41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性:25.3 女性:9.7 (2015)	男性:41 女性:43	男性:25.6 女性:10.5 (2019)	男性:43 女性:44	男性:22.9 女性:8.8 (2019)	男性:0% 女性:0%	D	D	男性:22.8 女性:8.7	
8 障害のある人も暮らしやすい社会																
(1) 特別支援教育等の充実	 取組の強化が求められる	 1.5 2019平均値 2.7	—	42	障害児に対する個別的教育支援計画等の作成率(幼児教育・保育施設)	%	63.2 (2020)	—	2020は準備期間として設定		—	—	—	指標変更	68.5	
(2) 障害者の自立と社会参加の促進			D	43	精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数	人	3,905	—	3,777	—	3,177	18%	D	D	3,177 (2020)	
(3) 障害者の就労機会の拡大			C	44	就労継続支援B型事業所における月額平均賃金	円	13,198	45 (2016)	14,383	—	14,910	69%	C	A	15,480	
				45	民間企業における障害者雇用率	%	1.97	32	2.19	31	2.26	76%	B	C	2.30	
9 安心して暮らせる社会																
(1) 地域公共交通の維持確保	 成果をあげつつある	 2.3 2019平均値 2.7	D	46	コミュニティ交通の利用者数	万人	308 (2016)	—	237	—	321	0%	D	D[B]	323	
(2) 治安対策の強化			D	47	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	42.7	—	44.3	—	48.0	30%	D	D	50.0以上	
(3) 交通安全対策の推進			A	48	交通事故死者数	人	143	38	84	37	120人以下	257%	A	A	120以下	
(4) 消費生活と食の安全確保			A	49	食に対する不安を感じない県民の割合	%	39.9	—	55.4	—	47.5	204%	A	A	50.0以上	
				50	消費生活相談窓口対応日数が週4日以上(市町村数)	市町村	39 (2019)	—	39	—	42	0%	D	指標変更	44	
(5) 地域の力を高めるコミュニティづくり			D	51	NPO法人認証件数(経年累計)	件	838	46 (10万人あたり)	861	44	947	21%	D	D	983	
(6) 犬猫殺処分ゼロの実現			A	52	犬猫の殺処分数	頭	545	—	0	—	0	100%	A	A	0	
(7) 安心して安全な上下水道の整備	D	53	水道普及率	%	94.4 (2016)	36	94.9 (2019)	36	98.6 (2019)	12%	D	D	100.0			
		54	汚水処理人口普及率	%	84.0	31	86.0	—	86.6	77%	B	B	87.4			
10 災害に強い県土																
(1) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	 成果をあげつつある	 2.7 2019平均値 2.5	D	55	自主防災組織の活動カバー率	%	80.8	34	83.0	36	89.3	26%	D	D	90.0	
				56	消防団員数の充足率	%	91.6	31	86.7	39	93.9	0%	D	D	94.0	
(2) 災害に備えた体制づくり			A	57	市町村のBCP策定率	%	56.8	27	100	1	100	100%	A	A	100.0	
(3) 危機に強いライフラインの整備			A	58	公共施設等の個別施設計画(長寿命化計画)策定割合	%	53.8	—	100	—	100	100%	A	C	100.0	
				59	河川改修率	%	57.6	—	58.1	—	58	125%	A	A	58.2	
(4) 治山治水対策の強化			A	60	土砂災害防止施設の整備率	%	24.1	—	24.6	—	24.4	167%	A	A	24.5	
(5) 原子力安全対策の徹底	D	61	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ(法令報告に該当するもの)	件	1 (2018)	—	1	—	0	0%	D	D	0			
(6) 危機管理体制の充実	C	62	市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率	%	61.4	—	81.8	—	90.9	69%	C	B	100.0			

※ 2020年度の実績値は、概ね2021年8月末までに公表された数値を掲示

チャレンジII「政策」の進捗状況		施策評価結果(チャレンジII)						主要指標評価結果(チャレンジII)					
区分	数	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」	1												
・「成果をあげつつある」	3	9	1	3	9	4	26	11	3	3	12	4	33
・「取組の強化が求められる」	1	(34.6%)	(3.8%)	(11.5%)	(34.6%)	(15.4%)	(100.0%)	(33.3%)	(9.1%)	(9.1%)	(36.4%)	(12.1%)	(100.0%)

Ⅲ. 新しい人財育成	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2020)				(参考)	目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2020 指標評価	2019 指標評価	2021	
11 次世代を担う「人財」															
「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進 (1) (2) 新しい時代に求められる能力の育成 (3) キャリア教育による将来の目標づくり (4) 青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくり (5) 就学前教育・家庭教育の推進 (6) 放課後の子どもの活動支援 (7) 地域力を高める人財育成	 成果をあげつつある	 2.0	D	63	国語の授業の理解度（中学生）	%	78.4	9	2020年度未実施	—	—	—	—	A	81.4
				64	全国高等学校総合体育大会等での優勝数	種目	4.0 (2019)	31	3	25	5	0%	D	A 【A】	6
				65	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	組	2	—	1	—	5	0%	D	D	5
				66	地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合	%	5.5 (2018)	—	20	—	10.0	322%	A	—	50
				67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	100	—	70	143%	A	A	100
				68	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合	%	69 (2018)	—	66.1	—	72.1	0%	D	—	78.3
				69	訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数	市町村	17 (2019)	—	17	—	19	0%	D	A	21
70	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	961 (2018)	—	1,074	—	1,063	111%	A	A	1,099				
71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	3,777	—	4,564	—	4,910	70%	C	D 【D】	5,280				
72	IBARAKIドリーム・パス事業への応募企画数	件	104 (2020)	—	—	—	—	—	—	—	—	指標変更	130		
12 魅力ある教育環境															
(1) ICT教育先進県の実現 (2) 正しいメディアとのつきあい方 (3) 時代の変化に対応した学校づくり (4) 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進	 順調である	 3.7	A	73-1	ICTを活用できる生徒の割合（県立高校）	%	38.6 (2018)	—	75.3	—	50	322%	A	A	100.0
				73-2	情報処理技術者試験の高校生合格者数（期間累計）	人	16 (2018)	—	27	—	34	61%	C	D	43
				74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	48.9 (2016)	—	71.2	—	81.8	68%	C	D	90.0
				75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率	%	97.8	—	100	—	100	100%	A	A	100.0
76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）	%	77.0	17	2020年度未実施	—	—	—	—	B	82.2				
77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	校	—	—	2	—	2	100%	A	A	2				
13 日本一、子どもを産み育てやすい県															
(1) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり (2) 安心して子どもを育てられる社会づくり (3) 待機児童ゼロへの挑戦 (4) 児童虐待対策の推進 (5) 誰もが教育を受けられることができる社会づくり (6) 困難を抱える子どもへの支援	 成果をあげつつある	 2.7	A	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	82.1	28	87.6 (2019)	21 (2019)	83.5	393%	A	—	84
				79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計）	組	1,930	—	2,352	—	2,300	114%	A	C	2,450
				80	放課後児童クラブの実施箇所数（再掲）	箇所	961 (2018)	—	1074	—	1063	111%	A	A	1,099
				81	保育所等の待機児童数	人	386	36	13	21	0	97%	B	C	0
				82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	12	—	34	—	44	69%	C	A	44
				83	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合（再掲）	%	69 (2018)	—	66.1	—	72.1	0%	D	—	78.3
84	母子・父子自立支援プログラム策定件数	件	31 (2019)	—	46	—	56	58%	C	指標変更	96				
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城															
(1) 生涯にわたる学びのすすめ (2) 心豊かにする文化・芸術 (3) 「する・見る・支える」スポーツの支援 (4) 遊びある楽しい生活スタイル	 成果をあげつつある	 2.0	D	85	県内公立図書館の入館者数	千人	8,477 (2018)	—	4,758	—	8,567	0%	D	D	8,612
				86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	1,051 (2018)	—	485	—	1,062	0%	D	D 【A】	1,067
				87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	34.7 (2016)	—	50.5	—	60	62%	C	—	60.7
				88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m ² /人	9.56 (2016)	36	9.93 (2019)	37	9.83 (2019)	137%	A	A	10.00
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会															
(1) 誰もが能力を発揮できる社会 (2) ダイバーシティ社会へ向けて (3) 一人ひとりが尊重される社会づくり (4) いじめを生まない社会づくり	 成果をあげつつある	 2.0	A	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計）	人	520	—	914	—	700	219%	A	A	800
				90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	90.6 (2016)	—	80.3	—	94.0	0%	D	—	95.0
				91	いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数	件	958 (2018)	—	1,324 (2019)	—	778.0	0%	D	—	689

※ 2020年度の実績値は、概ね2021年8月末までに公表された数値を掲示

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジⅢ)						主要指標評価結果(チャレンジⅢ)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」	1											
・「成果をあげつつある」	4						11	1	6	9	3	30
・「取組の強化が求められる」	0						(36.7%)	(3.3%)	(20.0%)	(30.0%)	(10.0%)	(100.0%)

IV. 新しい夢・希望	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2020)				(参考)	目標値			
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2020 指標評価	2019 指標評価	2021			
16 魅力度No.1プロジェクト																	
(1) 魅力発信国内戦略		1.8 2019平均値 2.3	C	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	71	—	101	—	120	61%	C	A	140		
(2) 魅力発信グローバル戦略			D	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	230,690	35	52,520	37	359,000	0%	D	D	389,900		
(3) 積極的なトップセールス			B	94	県産品の県内認知度	%	—	—	43.3	—	47	92%	B	B	50		
(4) 県民総「茨城大好き！」計画			D	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	83.3	—	72.1	—	88.0	0%	D	D	90.0		
17 世界に飛躍する茨城へ																	
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI		3.0 2019平均値 3.0	A	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	38	—	122	—	94	150%	A	A	100		
(2) 活発なグローバル交流			D	97	県内における国際会議の開催件数	件/年	50	12	60 (2019)	12	106	18%	D	D	120		
(3) 茨城シリコンバレー構想			A	98	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)(再掲)	社	4 (2018)	—	13	—	8	225%	A	A	10		
18 ビジット茨城 ～新観光創生～																	
(1) 旺盛なインバウンドの取込み		1.0 2019平均値 2.0	D	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	3,442 【2,868】 (2018)	—	0	—	4,300	0%	D	D 【A】	5,000		
(2) 新たな観光資源の発掘				100	茨城空港の旅客数	千人	681 【567】	39位/ 85空港	209	—	931	0%	D	C 【B】	944		
(3) 新茨城リゾート構想			D	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	6,181 (2016)	17位/ 44都道府県	3,854	3位/14都道府県	8,200	0%	D	D	8,450		
(4) 新茨城リゾート構想				102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	534 (2016)	24位/ 44都道府県	412	4位/14都道府県	822	0%	D	D	876		
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功																	
(1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興		4.0 2019平均値 4.0	—	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	23	23	—	—	—	—	A	A	1 (2019)		
(2) 県民総参加の機運醸成			—	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	—	—	—	—	—	A	A	延べ 5,200 (2019)	
(3) 成功に導く環境整備			—	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,200	
(4) 大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信			—	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	—	—	—	—	—	—	A	A	100 (2019)
(5) スポーツを活用した地域振興			A	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	9	6	17	6	15	133%	A	A	A	A	15 (2020)
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち																	
(1) 未来の交通ネットワークの整備		3.3 2019平均値 3.3	A	108	県管理道路の改良率	%	75.7 (2016)	20	77.1	22	76.1	350%	A	A	76.3		
(2) 空と海のゲートウェイ機能の強化				D	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千トン	94,350	—	84,230	—	101,000	0%	D	D	103,200	
(3) 人にやさしいまちづくり			A		110	茨城空港の旅客数(再掲)	千人	681 【567】	39位/ 85空港	209	—	931	0%	D	C 【B】	944	
(4) 魅力あるまちづくり				111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	2	—	24	—	20	122%	A	B	24		
				112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	63.1	—	70.5	—	71.8	85%	B	B	74.3		
				113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m ² /人	9.56 (2016)	36	9.93 (2019)	37	9.83 (2019)	137%	A	A	10.00		

※ 2020年度の実績値は、概ね2021年8月末までに公表された数値を掲示

チャレンジIV「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジIV)						主要指標評価結果(チャレンジIV)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」	3											
・「成果をあげつつある」	0						6	2	1	9	4	22
・「取組の強化が求められる」	2						(31.6%)	(5.3%)	(5.3%)	(36.8%)	(21.1%)	(100.0%)

「政策」の進捗状況(合計)	施策評価結果(合計)						主要指標評価結果(合計)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」	7											
・「成果をあげつつある」	10						35	6	10	30	10	91
・「取組の強化が求められる」	3						(38.5%)	(6.6%)	(11.0%)	(33.0%)	(11.0%)	(100.0%)

チャレンジ指標の進捗状況について

資料2 別添2

()は全国順位等を表す



4つのチャレンジ	No	指標名	単位	現状値 2017		2019	進捗 状況	2020	進捗 状況	備考	目標値 2021
I 新しい豊かさ	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	10 [2015] <small>※平成27年度 県民経済計算公表時</small>	期待値	9位以内	↗	9位以内	↗	・1人あたり県民所得は国民所得を上回る増加率 ※1人あたり県民所得[2015]3,104千円→[2018]3,327千円(+7.2%) " 国民所得[2015]3,069千円→[2018]3,198千円(+4.2%)	8位以内
					実績	7位[2017] <small>※平成29年度 県民経済計算公表時</small>		6位[2018]			
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,138	期待値	2,200[2018]	↗	4,400[2019]	↗	・企業誘致の成果及び看護職員の就業者数の増 -「雇用創出数」の構成内訳- ・企業誘致による雇用者増加数・起業による雇用増加数 ・新規就農者・本社機能の移転等による雇用増加数 ・就業看護職員数	8,800 (2018~21累計)
	実績	2,467[2018]	4,499[2019]								
③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	373 [2016] (9)	期待値	355[2018]	↘	400[2019]	↘	・農業産出額の減少による生産農業所得の減 ※生産農業所得(総額):1,685億円[2018]→1,470億円[2019](△215億円) 本県は農業経営体数が全国最多だが、収益性の高い経営が期待される主業経営体や法人経営体の割合が低い。 市場依存度の高い園芸部門のシェアが大きいため需給バランス等の影響を受け易く、所得が不安定。	500	
	実績	330[2018] (11)	298[2019] (15)								
II 新しい安心安全	④	最優先で医師確保に取り組む 医療機関・診療科の必要医師数	人	-	期待値	-	/	-	-	・2020年度は準備期間と設定していたため、評価なし ※実際には医師2.2人を確保	7.5 (2022)
					実績	-		2.2			
	⑤	健康寿命	年	男:72.50 [2016] (9)	期待値	-	/	-	/	・3年毎公表(令和3年度中に公表予定)	72.92
				女:75.52 [2016] (8)	期待値	-		-			
	実績	-	-								
III 新しい人材育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.8 (11)	期待値	80.2	➡	80.2	-	・2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査未実施	81.4
					実績	78.6(9)		(未実施)			
	⑦	生徒の英語力 英検取得(中学:3級, 高校:準2級)又は 相当程度を有すると 思われる生徒の割合	%	中学:43.3 (9)	期待値	54	➡	54	-	・2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査未実施	60.4
					実績	48.3(7)		(未実施)			
				高校:36.2 (35)	期待値	50	➡	50	-	・2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査未実施	58.0
					実績	44.6(18)		(未実施)			
⑧	県民が希望する子どもの数と 実際の子ども数の差	人	0.45	期待値	現状より改善	➡	現状より改善	➡	・実際の子どもの数は上昇するも、希望する子どもの数は若干減 ※県民が希望する子どもの数 [2017]2.49人→[2020]2.48人(△0.01人) 実際の子どもの数(予定含む)[2017]2.04人→[2020]2.06人(+0.02人)	現状より改善	
				実績	0.46		0.42				
IV 新しい夢・希望	⑨	企業経営者が考える成長期待度	%	-	期待値	最高値の更新	/	最高値の更新	↗	・本県が投資に適している県だと考えている企業経営者が、前年度より+4.1ポイント増の74.2% ※特に建設業経営者が、+21.0ポイント増の88.9% (考えられる主な理由)企業の本社機能等誘致による新たな活力の創出や、 新しい工業団地の造成の発表等が建設業における期待感として反映	最高値の更新
					実績	70.1		74.2			
	⑩	観光消費額	億円	2,628 (19/40 都道府県)	期待値	3,457	↘	3,700	↘	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるGW期間中の「観光ロックアウト宣言」や夏の海水浴場閉鎖、大型イベント中止に伴い大きく減少	3,950
	実績	2,487 (17位/31都道府県)	2,101 (3位/14都道府県)								
⑪	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	78	期待値	91	↗	98	↗	・農産物輸出額は、青果物が1.9倍(特にカンショは前年比2.4倍)、コメが前年比1.3倍と伸びたものの、常陸牛は約7割減と大きく落ち込んだ結果、前年度比115%増 ・加工食品はコロナ禍による飲食店への営業制限等により前年比97%、工業製品等は前年比134%に増加 ※農産物輸出額 [2019]6.4億円→[2020]7.4億円(+1億円) 水産物輸出額 [2019]54億円→[2020]52.9億円(△1.1億円) 加工食品輸出額 [2019]12.7億円→[2020]12.2億円(△0.5億円) 工業製品等輸出額 [2019]22.5億円→[2020]30.3億円(+7.8億円)	104	
				実績	95.6		102.7				

(凡例) 進捗状況について ↗ : 期待値より進捗 ↘ : 現状値より進捗 ➡ : 横ばい ↘ : 現状値より悪化

20 政策の進捗状況及び今後の方向性について

I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理




政策名	進捗状況	分析・対応
1 質の高い雇用の創出	 順調である	<p>☆「成長分野等の企業誘致」、「工業団地への企業立地」については期待どおりの成果をあげており、さらなる雇用の創出に向け、次世代自動車関連企業や半導体関連企業など、今後も大きな成長が見込まれる企業に対して、戦略的な誘致活動を展開していく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計) 1,016人 (期待値 768人) ■本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計) 126件 (期待値 84件) ■工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計) 196件 (期待値 150件) <p>☆「産業を支える人材の育成・確保」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、産業技術短期大学校や産業技術専門学校における実践的な人材の育成などをおし、成長分野等における人材の確保に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計) 1,443人 (期待値 1,489人) <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産業技術短期大学校就職者数：48人 (15年連続就職率100%達成) ■産業技術専門学院就職者数：125人 (就職率100%、+0.7ポイント) ■県北地域における地域課題を解決する人材の育成：起業者育成講座の開催 5回、22名受講 (15名修了)
2 新産業育成・中小企業等の成長支援	 順調である	<p>☆「先端技術を取り入れた新産業の育成」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、起業家や投資家等の国内外のスタートアップや人材が集うコミュニティづくり、ビジネスプランのブラッシュアップ支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計) 13件 (期待値 8件) <p>☆「活力ある中小企業・小規模事業者の育成」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、地域産業の発展に向けて、新製品開発に繋がる取組や、税理士や公認会計士、金融機関等と連携したM&Aの手法を活用した事業承継を推進していく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産学官連携による新製品等開発件数 98件 (期待値 96件) ■県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数(経年累計) 10件 (期待値 8件) <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■創業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・女性向け起業セミナーの開催：14回、23名受講 (+5人) ・起業家や投資家等の交流プログラム開催：16回、2,657人参加 ・技術シーズのブラッシュアップ：30件 ■事業承継支援 <ul style="list-style-type: none"> ・M&Aセミナー：14回、236名受講

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
3強い農林水産業	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「県食材の国内外への販路拡大」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、オンラインの活用など新型コロナウイルス感染症に対応した取組と、産地・実需者とのきめ細かな情報交換によるニーズ把握により、販路拡大に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県の支援により成約した農産物の市場外商談件数 618件 (期待値 580件)</p> <p>★「農業の成長産業化」については引き続き強力な取組が求められ、経営発展に向けた現状把握と課題分析を行うとともに、経営者マインドを備えた農業者の育成・確保や意欲ある担い手への農地の集約化、畜産の生産基盤強化等を推進し、儲かる農業の実現に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■販売金額1億円以上の農業経営体数 311経営体 (期待値 350経営体)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茨城かんしょトップランナー産地拡大事業による生産面積の拡大：2019年度111ha、2020年度201ha拡大 ■優良繁殖和牛群整備対策事業による高能力な繁殖雌牛の増頭支援【新規】：298頭 ■野生鳥獣による農作物被害金額：458百万円 (2018年度比-11百万円) ■茨城モデル水稲メガファーム育成事業による集積・集約化：4経営体の経営面積：303ha (2018年度比+129ha) ■農業参入等支援センターによる支援：法人化29件 (2019年度比+11件)、企業参入15件 (2019年度比+8件) ■民有林の森林経営集約化：10,297ha (2019年度比+2,454ha) ■沿岸漁業者への個別相談等による法人化支援：法人経営体数10 (2018年度比+1経営体)
4多様な働き方	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「女性が輝く環境づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、専門分野や職務指定分野の女性人材リストの充実を図るとともに、今後改選予定の審議会に対して積極的な女性委員の登用を働きかける。</p> <p>【主要指標等】 ■政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合) 36% (期待値 35%)</p> <p>★「U・Jターンで大好きな茨城へ」については引き続き強力な取組が求められ、高校生・大学生や保護者に対する県内企業のPR強化や、企業への採用力向上講座の開催、本県での就職を希望する者と企業とのマッチング支援の強化により、県内企業への就職率向上に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■大学卒業者の県内企業等への就職率 30.3% (期待値 32.5%)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■働き方改革優良(推進)認定企業数：57社 (+24社) ■県内中小企業における年次有給休暇取得率 [2019] 60.63% (期待値 60.00%) ■「いばらき女性活躍推進会議」会員企業数：664社 (+56社)、茨城県女性リーダー登用先進企業表彰：4社 ■高校生対象早期キャリア講座【新規】：参加校5校、参加生徒1,172人、参加企業延べ29社 ■地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計) 22,619人 (前年比 3,857人)
5かけがえのない自然環境の保全・再生	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「身近な自然環境の保全」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、工場・事業場の規制・指導及び常時監視の実施により大気汚染物質(PM2.5)の環境基準を達成させるとともに、高濃度事象の発生要因についての解析を進めていく。</p> <p>【主要指標等】 ■大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率 100% (期待値 100%)</p> <p>★「不法投棄対策と循環型社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、監視体制・機動力の強化を図るため、不法投棄等機動調査員の新たな採用や、夜間も含めたパトロールの実施、さらなる県警、市町村との連携の強化などにより、不法投棄の防止に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■不法投棄発生件数 197件 (期待値 100件)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■霞ヶ浦等の水質浄化・下水道・農業集落排水施設の接続支援補助件数：1,155件 (+149件) ・霞ヶ浦流域における高度処理型浄化槽設置補助件数：1,339件 (+129件) ・霞ヶ浦流域における小規模事業所立入検査件数：733件 (+6件) ■不法投棄の監視強化 不法投棄防止監視協定締結団体数：51団体2企業 (+13団体)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

Ⅱ 「新しい安心安全」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理



政策名	進捗状況	分析・対応
6 県民の命を守る地域医療・福祉	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「医療・福祉人材確保対策」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、特定看護師の活用促進に向けた啓発や、福祉現場における、外国人やシニア層など多様な人材の参入促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■特定看護師数 [2019] 96人 (期待値 85人) ■介護職員数 [2019] 42,001人 (期待値 42,001人)</p> <p>★「医療提供体制・地域保健の充実」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、消防機関と医療機関との連携強化を図るなど、救急医療体制を充実させていくとともに、保健所機能の充実等、新型コロナウイルス感染症への対応力の強化に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■救急要請から医療機関への搬送までに要した時間 [2019] 43.3分 (期待値[39.5分]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数：第1次目標必要医師14名に対し13.1人を確保(取組期間：2018.9～2020.9) 第2次目標必要医師7.5名(2022)に対し、2.2人を確保(2021.3現在) ■看護師特定行為研修受講の支援：38名 ■水戸市消防をモデルとした、搬送時間縮減に向けた効果検証の実施(2021.3～) ■がん専門医療従事者の育成：2名 ・ウィッグの購入費助成：681件 ・乳房補正具購入費補助：59件 ■自殺予防ゲートキーパー養成研修：77回(+12回)
7 健康長寿日本一	 <p>順調である</p>	<p>☆「在宅医療・介護の支援」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、保健・医療・福祉のサービスが適切に提供できるよう、オンライン等による診療の推進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■訪問診療を実施している診療所・病院数 [2018] 421箇所 (期待値 396箇所)</p> <p>☆「地域包括ケアシステムの構築」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、地域の医療・介護関係者など多職種協働による支援の推進等に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■地域ケア会議における困難事例の支援開始割合 94.4% (期待値 91.6%)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療に取り組む医療機関の連携 40グループ (+28グループ) ・ 178医療機関 (+115医療機関) ■在宅訪問を実施している薬局数 527箇所 (+51箇所) ■認知症サポーター養成人数 276,004人 (+74,437人)
8 障害のある人も暮らしやすい社会	 <p>取組の強化が求められる</p>	<p>★「障害者の自立と社会参加の促進」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、市町村・医療機関・福祉サービス事業者等との連携を強化するなど、障害者が地域社会で安心して生活できる体制づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数 3,777人 (2017から128人減少するも、期待値[3,177人]には未到達)</p> <p>★「障害者の就労機会の拡大」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、関係機関と連携し障害者と企業とのマッチングを促進するとともに、就労継続支援B型事業所の工賃を向上するなど、障害者が地域で自立して生活できる体制づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■就労継続支援B型事業所における月額平均工賃 14,383円 (2017から1,185円増加するも、期待値[14,910円]には未到達) ■民間企業における障害者雇用率 2.19% (期待値2.26%)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域生活支援拠点の設置か所数 5か所 (+5か所) ■幼児教育施設、小・中学校、高等学校等への支援 ・特別支援学校の教員による巡回相談：4,353件 ・大学教授等の専門家の派遣：65回 ■共同受発注センターによる障害者施設等の受注件数 355件

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理


政策名	進捗状況	分析・対応
9 安心して暮らせる社会	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「交通安全対策の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、交通事故の実態や地域の実情を踏まえた効果的な交通安全対策を推進するとともに、子供や高齢者が安心して通行できる交通の確保、妨害・飲酒運転等を行う悪質・危険な運転者の排除等、総合的な交通安全対策に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■交通事故死者数 84人 (期待値 120人以下)</p> <p>★「地域の力を高めるコミュニティづくり」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、NPO 法人をはじめとしたコミュニティ運動を実施する団体等の活性化を図るとともに、自助、互助、共助、公助による持続可能な地域コミュニティの形成に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■NPO 法人認証件数 (経年累計) 861件 (2017 から 23 件増加するも、期待値[947 件] には未到達)</p> <p>その他主な取組成果 (2020 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食に対する不安を感じない県民の割合 : 55.4% (期待値 47.5%) ■人身交通事故発生件数 : 6,049 件 (7,000 件未満となるのは、1964 年以来 56 年ぶり) ■刑法犯認知件数 : 16,301 件 (▲8,508 件) ■検挙率 : 37.9% (+5.4 ポイント) ■水道普及率 : [2019]94.9% (2016 年度比+0.5 ポイント)
10 災害に強い県土	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「治山治水対策の強化」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、気候変動の影響によりリスクが高まっている水害・土砂災害に対し、国や関係機関等と連携しながら、優先度を踏まえて施設等整備を推進するとともに、災害リスク情報の充実・積極的な提供を行っていく。</p> <p>【主要指標等】 ■河川改修率 58.1% (期待値 58.0%)</p> <p>■土砂災害防止施設の整備率 24.6% (期待値 24.4%)</p> <p>★「地域の防災活動への支援・充実」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも災害ハザード内の自主防災組織の結成を重点的に促進していくとともに、機能別消防団員の導入促進など、消防団員が活動しやすい環境の整備などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■自主防災組織の活動参加率 83.0% (2017 から +2.2 ポイント改善するも、期待値 [89.3%] には未到達)</p> <p>■消防団員数の充足率 86.7% (期待値 93.9%)</p> <p>その他主な取組成果 (2020 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■住民の避難力強化 : 治水優先度の高い地域における マイ・タイムライン等の作成支援 を実施 (2020 年度までで 29 市町村 55 箇所において実施) ■公共施設等の個別施設計画 (長寿命化計画) 策定割合 : 100% (期待値 100%) ■市町村の BCP 策定率 : 100% (期待値 100%) ■市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率 : 81.8% (+20.4 ポイント)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である 2017 年との比較)

Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理



政策名	進捗状況	分析・対応
11 次世代を担う「人財」	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「キャリア教育による将来の目標づくり」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも、児童生徒の発達段階に応じた課題解決型学習やキャリア・パスポートの活用など、一人一人の社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合 20% (期待値 10%) ■県立高等学校におけるキャリアノートの活用率 100% (期待値 70%)</p> <p>★「『知・徳・体』バランスのとれた教育の推進」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、模範となる授業モデルの発信等による授業改善を進めるとともに、トップアスリート育成システムの構築等により、県内選手の競技力の向上などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■国語の授業理解度 — (新型コロナウイルス感染症の影響により指標となる国の調査が2020年度は未実施) ■全国高等学校総合体育大会等での優勝数 3種目 (期待値 5種目)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■IBARAKI ドリーム・パス事業 応募企画数: 104件 ■デュアルシステム実施校数・参加人数: 16校・118人 ■ジュニア技能インターンシップの実施: 16校・118人 (+14人) ■次世代グローバルリーダーの育成 英語の学習意欲・能力の高い中高生: 80人 ■プログラミングエキスパートの育成 中高生トップ層育成研修参加者: 40人 基礎学習支援参加者: 2,282人 ■ワンストップ就職支援サービス: 就職決定者数 813人 ■いばらきっ子郷土検定参加者数: 23,654人 (中学2年生)
12 魅力ある教育環境	 <p>順調である</p>	<p>☆「ICT 教育先進県の実現」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、キャリアステージに応じた教員研修や中高一貫教育校における特色ある教育などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■ICT を活用できる生徒の割合(県立高校) 75.3% (期待値 50%)</p> <p>☆「新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、大学と連携した、特色のある教育カリキュラムの導入促進により、魅力的な教育環境の創出に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数 2校 (期待値 2校)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■県立学校コンピューター整備台数 ・高校 96校・10,281台、特別支援学校 23校・1,087台、普通教室 LAN 整備率 100% (118校) ■茨城大学と連携したリカレントプログラム「茨城エコ・カレッジ」の開催: 69名修了 ■学校におけるメディアに関する講習会の実施率: 100%
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、市町村と連携した妊娠期から子育て期にわたる包括的支援や、AI マッチングシステムの積極的運用による結婚支援のデジタル化などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■妊娠・出産について満足している者の割合 87.6% (期待値 83.5%) ■いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数(経年累計) 2,352組 (期待値 2,300組)</p> <p>★「誰もが教育を受けることができる社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、今後ともスクールソーシャルワーカーの活用促進や、学校とフリースクールの効果的な連携を図る取組などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合(再掲) 66.1% (期待値 72.1%)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■放課後児童支援員資格認定研修修了者: 3,452人 (+1,795人) ■家庭的保育者(保育ママ)認定研修修了者: 113人 ■ペアレント・トレーニング開催市町村数: 34市町村 (+22市町村) ■保育所等の待機児童数: 13名 (▲373名)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城	 成果をあげつつある	☆「遊びある楽しい生活スタイル」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、本県の豊かな自然を活かしたアウトドア・スポーツアクティビティ環境の整備を進めるとともに、都市公園の更なる魅力向上に向けた民間活力の導入などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■都市計画区域人口1人あたり都市公園面積 9.93 m²/人 (期待値 9.83 m ² /人) ★「心豊かにする文化・芸術」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、県近代美術館等でオンラインを活用した企画展・所蔵作品展のPR動画の配信などにより、利用促進に取り組んでいく。 【主要指標等】 ■県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数 485 千人 (期待値 1,062 千人) その他主な取組成果(2020年度) ■いばらきeスポーツアカデミーの開催： 3回 【オンライン開催】 ■総合型地域スポーツクラブ：クラブの市町村設置率： 81.8% ・クラブ数： 49
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会	 成果をあげつつある	☆「誰もが能力を発揮できる社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、男女共同参画社会の実現や外国人にとって住み続けたいと感じられるような生活環境づくりなどに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数 914 人 (期待値 700 人) ★「ダイバーシティ社会へ向けて」及び「一人ひとりが尊重される社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、多様化する人権問題に対応するため、啓発動画による周知活動など実施方法を工夫しながら県民の人権意識の向上などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■人権は大切であると感じている県民の割合 80.3% (期待値 94%) その他主な取組成果(2020年度) ■いばらきパートナーシップ宣誓制度活用件数： 43 件 (R1.7 創設) ■外国人相談センターでの相談件数： 1,172 件 【日本語を含む10言語で対応】 ■日本語学習支援者養成講座参加者：41 名 ■スクールカウンセラー： 全市町村立小中義務教育学校、全県立高等学校配置 ■スクールソーシャルワーカー派遣： 小中高等 158 校・1,293 回 (+35 校、+341 回) ■スクールロイヤー派遣回数： 116 回 (+91 回) ■人権相談： 109 件 (+59 件) ■コロナ差別に関する相談： 25 件 ■人権教育指導者研修会： 3 回・147 人受講

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理



政策名	進捗状況	分析・対応
16 魅力度 No.1 プロジェクト	 <p>取り組みの強化が求められる</p>	<p>★「魅力発信国内戦略」については引き続き強力な取組が求められることから、新型コロナウイルス感染症の影響下においては、感染状況に左右されない県産品のPRやポストコロナを見据えたアウトドアアクティビティなどの情報発信に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■本県情報のメディアへの掲載による広告換算額 101億円 (期待値 120億円)</p> <p>★「県民総「茨城大好き！」計画」の取組については引き続き強力な取組が求められることから、小中学生から郷土教育を推進するとともに、ターゲット層ごとにアプローチを変えるなど効果的な広報に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■茨城県に「愛着を持つ」県民の割合 72.1% (期待値 88.0%)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いばキラTV 動画視聴回数：4,231万回 (+1,207万回) ■茨城県公式Twitterのフォロワー数：161,560人 (+30,400人) ■茨城観光マイスター認定者：1,506人 (+191人)
17 世界に飛躍する茨城へ	 <p>順調である</p>	<p>☆「世界に広がるメイドインIBARAKI」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、市場ニーズを適切に把握していくとともに、オンラインを活用した商談機会の創出や、企業の商談対応力の強化支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県の支援により成約した輸出商談件数 122件 (期待値 94件)</p> <p>☆「茨城シリコンバレー構想」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、企業や大学・研究機関、産業支援機関、金融機関等と連携し、新たな成長産業の創造やイノベーション拠点の形成などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計) 13件 (期待値 8件)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■東南アジア等での青果物のプロモーション事業の取組強化：9カ国 (2019年度比+4カ国) ■米国における常陸牛のプロモーション実施：商談会5回、茨城フェア開催1回 ■農林水産物及び工業製品等の輸出額：10,269百万円 (+107%) ■国際会議等誘致及び相談・開催支援件数：26件 ■県・つくば市が参加するコンソーシアムがグローバル拠点都市に選定 (2020) ■ベンチャー企業の海外展開支援件数：5社
18 ビジット茨城～新観光創生～	 <p>取り組みの強化が求められる</p>	<p>★「旺盛なインバウンドの取込み」については引き続き強力な取組が求められることから、インバウンドの再開を見据え、訪日旅行者層の需要に合わせた戦略的な情報発信、受入環境整備や滞在・体験型コンテンツの磨き上げなどに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■海外からの観光ツアー催行数 0ツアー (期待値 4,300ツアー)</p> <p>■茨城空港の旅客数 209千人 (期待値 931千人)</p> <p>★「新茨城リゾート構想」については引き続き強力な取組が求められることから、ポストコロナに向けてサイクリング・キャンプなど本県の強みを生かせるアウトドア観光などを促進し、魅力ある観光地域づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■宿泊観光入込客数 412万人 (期待値 822万人)</p> <p>その他主な取組成果(2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茨城空港旅客数：209千人 ■定期便の維持：国内線4路線、国際線3路線 ■いばらきフラワーパークリニューアル R3.4オープン ■県内宿泊料金の割引支援(いばらき応援割)：19,605人泊 ■筑波山霞ヶ浦での土産品・ツアー等の開発支援：13件 (+6件) ■本県のロケ支援：344作品 ■ロケによる経済波及効果推計：1.3億円 ■新たな集客コンテンツとなる大型イベントへの支援：4件 ■つくば霞ヶ浦りんりんロード：利用者9.3万人 (+170%)、広域レンタサイクル貸出：3,115台 (+190%)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功	 順調である	☆東京オリンピック・パラリンピックについては、期待どおりの成果をあげている。(大会は2021年に延期) 【主要指標等】 ■ホストタウン交流事業に取り組む市町村数：17市町村 (目標値 15市町村) 2021年に延期された東京2020大会では、新型コロナウイルス感染拡大状況下において、多くの会場が無観客開催となったが、本県の茨城カシマスタジアムにおいては11試合のうち3試合について、学校連携観戦により、県内の小中高生が観戦した。 その他主な取組成果(2020、21年度) ■オリンピック・パラリンピックの成功 ・学校連携プログラムによる小中高生の観戦：約3,400人 ・茨城県都市ボランティアの延べ活動人数：288人 (学校連携観戦実施の3日間) ・事前キャンプ受け入れ：12市町において12カ国の選手団を受け入れ (ベルギー、スイス、アルゼンチン等)
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち	 順調である	☆「未来の交通ネットワークの整備」については期待どおりの成果をあげており、今後とも東関東水戸線の全線開通・圏央道4車線化・スマートICの整備促進に向けた要望、県管理道路の確実な整備などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■県管理道路の改良率 77.1% (期待値 76.1%) ☆「魅力あるまちづくり」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも市町村等と連携しながら、プロスポーツや芸術、地域のもつ文化・歴史的資源あるいは恵まれた自然環境などを活かした地域づくりに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■都市計画区域人口1人あたり都市公園面積 [2019] 9.93㎡ (期待値 9.83㎡) その他主な取組成果(2020年度) ■都市公園の整備：県営公園拡張(笠間芸術の森公園)ほか市町村営公園開園(境町、坂東市等) ■常陸那珂港区：コンテナ取扱貨物量 47,539TEU(過去最高) ■カシマサッカースタジアムの計画的な修繕など観戦環境整備 ■茨城港：モータープールⅡ期利用開始

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)